

双六小屋～槍ヶ岳～穂高岳～上高地

山行日：2013.08.01～08.04 メンバー、UR、HA、TA、SU 天候：雨、曇後晴れ
 コース：新穂高温泉/6:30-鏡平山荘/12:00-双六小屋/15:10 二日目/5:10-槍ヶ岳山荘
 /10:27-槍ヶ岳/11:12-飛騨乗越/11:55-南岳小屋/14:50 三日目/5:50-大キレット入
 口/6:05-長谷川ピーク/7:40-北穂高小屋/10:05-涸沢岳/13:50-穂高岳山荘/14:05 四
 日目/6:00-奥穂高岳/6:55-前穂高岳/9:05-岳沢小屋/12:05-上高地バス停/14:35



夜行バスで新穂高温泉終点到り雨の中降りるが
 売店の建物は工事中で、着替えはトイレ中となり
 右往左往



左俣谷は物凄い濁流となっていた



林道終点までにははっきりなしに雨が降り続き
 秩父沢の渡渉が危惧された

わさび平小屋の主人が車で渡渉箇所の状況を
 調べに行って、何とか渡れる情報あり



秩父沢あたりから降雨はやむ
 生憎、鏡平池には槍ヶ岳は写っていない



鷲羽岳をバックに双六小屋が見える
右方面が槍ヶ岳への西鎌尾根

二日目、濃いガスの中、雨具を着て
西鎌尾根で槍ヶ岳を目指す



少しずつ
晴れてきた青空に槍が見える



小雨が降り槍の穂先への登山者は
ほとんどいないのを
確認して、ならばと・・・
急遽山頂を二人でピストン



大天井岳からの東鎌尾根と
涸沢への入口、屏風岩



槍からの
3000m天空の縦走路を
振り返る



向こうの稜線は表銀座縦走路
右のピラミダルな山が常念岳
昨年常念乗越から大キレットを
みて、来年こそは歩こうと
1年がかりでようやく
永年の夢がかなう時がやって
きた



南岳山頂のすぐ下が今夜の宿
その向こうのピークの先に
大キレットが
待ち受けている



槍ヶ岳からの縦走路シルエット

獅子鼻脇から大キレットが
はじまる
北穂高岳に山頂小屋が見える
右に奥穂高とジャンダルム



笠ヶ岳の稜線に陽が沈む

翌日三日目
朝日を浴びて雲海の上に笠ヶ岳
右に黒部五郎岳—鷲羽岳





獅子鼻 北穂高岳
 大外展望台 3時間
 1分 ※登山者
 近年、これより先の大キレット
 では重大事故が頻発しています。
 日本屈指のハードなルートが続きま
 す。いま一度、天候・体調・装備な
 どを確認の上、事故のないよう
 無事に通過されることを願います。
 南岳小屋

いよいよキレット突入
 獅子鼻～北穂高岳全体像



槍の穂先、薬師岳、立山、剣岳が
 良く見えていた

獅子鼻の脇からガシ場を慎重に
 降りてゆく



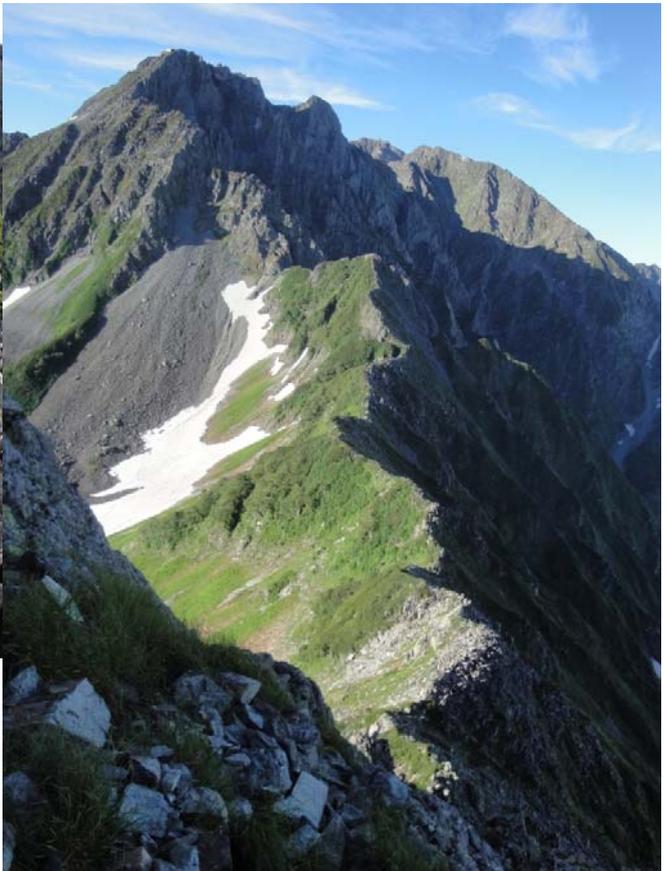
一直線に下る



一気に奈落のそこまで降りてゆく
最後は鉄梯子で降り立つ



降りてきた獅子鼻を振り返る



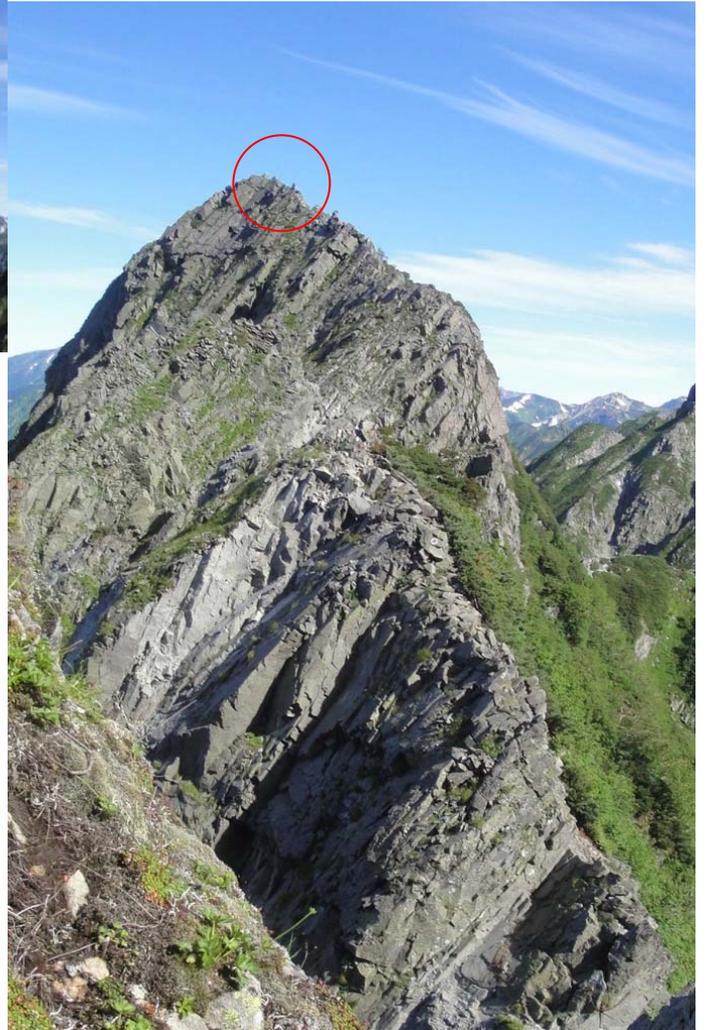
これから向う長谷川ピーク、北穂高岳が
聳え立っている



キレット核心部を通過
長谷川ピーク
長野県側から飛騨側に
移り換える



信州側から飛騨側に移動している



無我夢中で最難関箇所を通過してホットー息



コルから北穂高岳までもさらに岩場がつづく



飛騨泣き
に取り掛かる

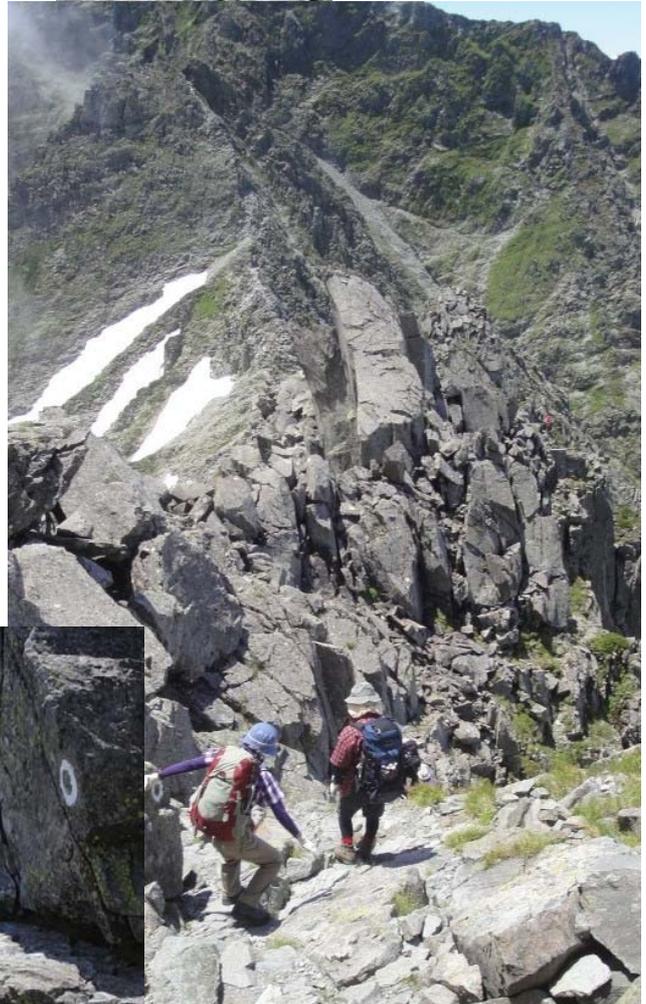
鳥も通わぬと言われる滝谷の岩壁
本日クライマーはいなかった



キレットの途中から
チームに入り
一緒に歩き通した
埼玉からのペア
小屋のすぐ上が山頂
あまりに多くの人で
道標のみ撮影して先へ



湊沢岳への下りも大したもの、さらに登り返しあり



この岩場も半端ではなかった。ガスが濃くて唐沢岳山頂からすぐに穂高岳山荘へ降りる



無事キレットを越えて最高の笑顔

双六、南小屋は個室状態であったが8月の最初の週末は最高に混雑するとの情報通り、布団1枚で二人だった

5回に分けて夕食タイム。国内組、韓国組のツアー客も多かった。立派なドアの個室も3室ある



青空はまだ広がっていて明日も天候が約束されたと勝手に勘違いしていた

前穂高岳と北尾根が見える



涸沢カールと屏風岩

翌早朝

国内組のツアー客は涸沢雪渓を
ガスで煙る中、下山して行った

前穂高岳は我々が到着した時間
帯には数珠つなぎで登っていた



涸沢側の反対

前穂高岳稜線沿い
にジャンダルムが
見えていた



いやな予感通り、翌朝はガスが濃く
またもや雨具を着込んで
岩場を登る

韓国組ツアー客が団体で
登りだし、これも嫌な予感が・・・
山頂での展望全くなし



吊り尾根は
凄い急降下から
はじまった



吊り尾根のロケーションを楽しみにしていたがガスで見えず



紀美子平からピストン



前穂高岳山頂もガスの中
凄い急斜面であつた

紀美子平から韓国組の団体が降り口で大渋滞クサリを怖がっているようだった





ようやく危険地帯
から開放されて
振り返る



岳沢小屋は宿泊客満杯との張り紙あり
上高地から年配者が多く上がってくる
立地条件は素晴らしい

小屋から終点の上高地は見えるが
なかなか着かない



河童橋から岳沢越しに、奥穂高岳、前穂高岳、明神岳が見える
はずがガスで展望はイマイチであった

